

デジタル・ストーリーの英語教育の実験

ーデジタル・ストーリーの集団制作ー

A Trial on a Digital Story : Making a Picture-story Show

古 山 みゆき

Miyuki KOYAMA

要約

基礎教養外国語の教育目標は実生活で生きる力としての、心を伝えるコミュニケーション力と、社会の職場に必要な協働力である、保育現場の異文化コミュニケーション力の学生の英語学習意欲を高めるために、保育園での保育者の日課を英語の紙芝居で表すことを課題とし、それを集団製作し、その発表を試みた。作業の前と後に、英語学習動機についての2回のアンケートをとり、それぞれの結果を比較した。その結果として、学生は、実用的な英語力を習得の必要性をより感じ、グループ学習を楽しみ、授業に対する満足度は高かった。だが、今後、学生に達成度を確認するために、作品と発表の評価基準を明示すれば、より彼らの学習意欲が高まると思われる。

キーワード：国際共通語、デジタル・ストーリー、紙芝居、学習動機

目次

- I 実験の背景
- II 実験の目的
- III 実験の方法と実行
 - 1 第1週
 - 2 第2週
 - 3 第3週と第4週
 - 4 第5週
- IV 実験のまとめと今後の課題

I 実験の背景

2008年度の児童福祉学専攻の半期必修の基礎英語という、基礎許容の科目では、履修者は保育者養成課程の1年生(22人、全員女子)である。現在、約150万人を超える外国人が日本に生活しており、私達は、アジア系、南米系、欧米系と多様な文化的背景をもつ外国人の子どもと彼らの保護者と接する機会、また日本人が海外の福祉施設を訪問するそれも増えている。共栄短大でも社会福祉専攻では毎年ヨーロッパの国々の施設を訪問する海外研修プログラムがある。また対人援助職としての現場での国際共通語としての英語の役割は無視できない。このような時代に、学生は実生活を生きる技術として言葉のコミュニケーション力、実用的な言葉の運用力は不可欠である。2005年からは、介護福祉や児童福祉の現場に必要な実用的な英語表現能力をはかる福祉英語検定試験がおこなわれている。(1)

基礎教養語学系科目の教育目標は、社会人としての生きる力の養成であり、人間の心を伝えあう力(コミュニケーション力)のそれである。基礎英語という科目の指導目標は、保育現場の異文化コミュニケーションの基礎としての外国語、英語を学ぶことで、保育現場では特に、集団で作業をする協働力も必要とされる。著者は、この指導目標を踏まえ、集団制作で英語のデジタル・ストーリーを紙芝居の形で、完成させる授業を制作、発表(プレゼンテーション)、評価の三段階で展開する計画を策定した。だが、発表と評価は、授業時間の制約で考察するには未完成なものに終わったので、今後の研究課題としたい。ここでは第一段階の作品制作だけを考察する。

II 実験の目的

デジタル・ストーリーの内容と制作方法に注目し、集団制作のデジタル・ストーリーの

作成が、学生の英語の学習意欲を高めるために効果があるか否かを確認することが、実験の目的である。第一にデジタル・ストーリーの題材に学生が興味を持つと思われるものを選んだ。学生の将来の職業領域に役立つに保育と英語が結びついた授業が望ましい考え、保育園での保育者の日課を英語の紙芝居で表すことを課題とした。赤松直子著の『保育の英会話』を教科書に使い、英会話の録音、絵、ストーリーの編集にはコンピュータをという現代に有用なコミュニケーションの道具を使用した。(2) 英語力とコンピュータ・リテラシーは現代を生きぬく重要な技術であるコミュニケーション力でもある。

第二には、4つのグループで、一つの英語の紙芝居を完成させる、グループ学習の方法を選んだ。ほとんどの学生は、高校までの英語の授業では、教員が教科書に基づいた講義や演習をおこなう方法に慣れているし、英会話授業で役割演習はあるが、語劇の上演等の集団制作の経験は無い。この学習方法で、チームで課題を完成する作業力を養うことは、保育園などの、現実社会の集団で協働力を身に着けることにもなる。

Ⅲ 実験の方法と実行

実験の場はCALL教室(デスクトップPC40台、Windows2000対応)で、準備器具は録音マイク付ヘッドホン6台、ラップトップPC5台(デジタル・ストーリー編集ソフト付、Power Director6)、デジカメ1台である。一回の授業の作業時間は90分であり、作業手順は表1に示す。

表1 実験の手順

日程	2008年5月2日から5月23日	毎週金曜1時限
第1週	プレアンケート実施	
第2週	日課表の理解とグループ分け	場面の分担
第3週	場面の作成(会話録音、絵)	
第4週	ストーリーの編集	
第5週	発表、ポストアンケート	

作業の詳細は以下に述べる。

1 第1週

プレアンケートは各個人の英語学習の意識を質問しているもので、ストーリー作成前に実施し、ポストアンケートは作成後に行い、両者のアンケートの結果を比較した。(3)

実際のアンケートは参考として表8と表9として示しておくが、結果としてポストアンケートで大いに変化のあった質問項目を表2に示す。ここで、ポストアンケートで数

値が下がったものには×印をつけている。それ以外はすべて数値があがったものである。

項目Ⅲの好みの英語学習方法では従来の英語学習方法には全て否定的であることは、学生がグループの学習方法を好む結果と関係している。

表2 ポスト、プレアンケートの質問項目

I	英語学習の目的	1	海外移住を希望
		2	英語は国際語
		3	世界情勢を知りたい
II	習得したい英語力	1	海外旅行の時、コミュニケーションをはかれる
		2	簡単な日常会話
		3	英語の映画、ラジオが理解できる
III	好みの英語学習	1	英語を使う発表、単語学習、英文法、リスニング、英文読解
		2	調査とその結果の要約
IV	過去の授業に比べたこの授業の英語学習		(この項目はポスト・アンケートのみ)
		1	授業に満足
		2	英語力が伸びた
		3	英語の宿題はいい加減②やることがおおかつた。
V	好みの授業	1	多くの活動がある
		2	教師がリードして自分はだまっている
VI	好みの学習形態	1	グループ学習が好き
VII	英語に関する貴方の気持ち	1	授業中英語で話すのは恥ずかしい
		2	英語ではなしかげられると、すぐ混乱して逃げ出したなる

2 第2週

日課表の理解とグループ分けでは、学生は教科書『保育の英会話』の保育者の一日を理解し、教員が作成した英語の日課表の担当場所を、4グループの全員が確認する。日課表と分担表は表3である。それぞれの活動の内容は学生自身が決めて絵も会話もきめる。教員は登園と降園の場面を紙芝居のモデルとして提示した。表3は日課表とグループ分担表である。まず、学生は英語で書かれた日課表の子どもと保育士の活動内容を理解し、それから分担場面の絵と会話を考える。教員が学生とともに、教科書『保育の英会話』から、絵にふさわしい子どもと保育士のそれをえらび、ストーリーにふさわしく編集する。(4) 主人公の子どもの名は **Emily** で、3歳の英語圏の外国人の女子で、1グループは着せ替え人形遊び、2グループは昼ごはん、3グループは昼寝の前の着替え、4グループは外遊びの場面を考える。

表 3

	7:30--8:30a.m.	Arrival
	8:30--10:00	Free playtime: Outdoor playtime ex.play in the sandbox
Group1	10:00--10:30	Morning Assembly
	10:30--12:00	Free playtime: Indoor playtime: <u>play dreesup with dolls</u>
2	12:00--13:00	<u>Lunch time</u> , Toilet time, Helping the children put on their pajamas
	13:00--15:00	Nap time
3	15:00--15:30	Waking the children, toile time,
		<u>Helping the dchildren get dressed,</u> Snack time
4	15:30--	Free playtime: outdoor playtime : play in the pool
		Departure
	17:00--	Clean-up time

3 第3週と第4週

場面作成では、1グループはコンピューター搭載した絵描きソフトを使わず、彼らの絵をデジカメでコンピューターに取り込んだが、他のグループはすべて絵描きソフトを使用した。英会話はそれぞれの役割の学生が練習し録音した。音声の個人差のせいで、この録音には音量の調整に時間がかかった。各グループの編集長が、英会話や絵を編集ソフト（Power Director6）で編集してストーリーを作りあげた。

4 第5週

発表（presentation）とポストアンケートの実施では、全員で完成作を見たが、学生は楽しそうであった。だが学生に、教員が客観的な評価と反省の」の機会をあたえず、とポストアンケートを実施で授業を終了させてしまったことは、教員側の大きな反省点である。

先にのべたプレアンケートとポストアンケートの結果の比較をまとめると、まず、英語学習の動機では英語が国際語であることが著しく増えた。習得したい英語力は旅行や日常に必要な簡単な会話力で、この授業には誠実に参加し、教員主導の演習でなく、自らが積極的にかかわるグループ学習を好む。この授業のあとは、学生自身は英語学習の必要性は彼らにとって現実的なものになり、紙芝居の作成には熱心で、学習への満足度や積極性は増してみる。これはこの学習実験の目的である、英語学習の意欲を高めることを一応満たしているだろう。

IV 実験のまとめと今後の課題

デジタルストーリーの集団制作は、学生への英語学習意欲への効果のある程度もたらしめているが、実験の第一段階である。より学習意欲の効果を高めるためには、達成点を明らかにするために、作品に対する、教員と学生の評価基準を学生に示さなくてはならない。この実験では、プレアンケートの際に、教員の発表内容と集団学習の成果への評価基準を

示し、ポストアンケートの際には其の評価基準したがって、総合評価する機会を持つ必要がある。この評価基準には Kay Teehan 著書 *Digital Storytelling* で紹介されている評価表を参考に、古山が作成して評価表を次回の実験では使い、明確な評価基準を設定した、より正確なデジタルストーリーの集団制作を試みたい。(4) 表4と5は教員の評価基準であり、表6は学生のそれである。尚最後に参考として、プレアンケートとポストアンケートの内容を表7と8に示しておく。

表4 教員の評価表（内容について）

評価項目	1 努力が見られない	2 努力が見られる	3 良い	4 大変よい	5 立派である
1 活動内容の表現と内容が一致					
2 ストーリーの会話と絵が観客の気持ちにうたっているか					
3 絵、会話、説明の言葉がまとまりのあるストーリーになっているか					
4 ストーリー全体の流れが滑らかであるか					

表5 教員の評価表（集団制作について）

評価項目	1 努力が見られない	2 努力が見られる	3 良い	4 大変よい	5 立派である
1 作業への熱心さ					
2 グループ作業の組織化					
3 アイデアの創造力（独創性）					
4 メンバー間のコミュニケーション					
5 計画性（時間配分）					

表6 学生の評価表

評価項目	1 努力が必要	2 普通	3 良い	4 大変よい
1 ストーリーの内容が理解できる				
2 絵が内容を表している				
3 会話は聞き取りやすい				
4 ストーリーの流れが滑らか				
5 全体的な評価				

表7 DS プレアンケート

プレアンケート

08・5・2

下の質問に1（絶対そうということはない）～6（常にそうだ）で答えてください。

I. あなたが英語を勉強する目的は何ですか？							
1	海外旅行をしたいから	1	2	3	4	5	6
2	外国人に会って、英語で話したいから	1	2	3	4	5	6
3	外国人と友達になりたいから	1	2	3	4	5	6
4	外国人の友達や知り合いと連絡を取ったり交流を図りたいから	1	2	3	4	5	6
5	海外に住みたいから	1	2	3	4	5	6
6	世界のいろんな文化や人々について知りたいから	1	2	3	4	5	6
7	世界の情勢を知りたいから	1	2	3	4	5	6
8	視野を広げたいから	1	2	3	4	5	6
9	英語は国際共通語だから	1	2	3	4	5	6
10	英検などの資格試験に合格したり TOEIC でいい点数を取るため	1	2	3	4	5	6
11	英語のクラスで良い成績をとるため	1	2	3	4	5	6
12	将来の仕事・研究に必要なだから	1	2	3	4	5	6
13	良い仕事につきたいから	1	2	3	4	5	6
II. どれくらいの英語力をつけたいですか。							
1	旅行するとき最低限のコミュニケーションをはかれる	1	2	3	4	5	6
2	簡単な日常会話ができる	1	2	3	4	5	6
3	英語のスピーチができる	1	2	3	4	5	6
4	英語でディスカッションをしたり、ディベートができる	1	2	3	4	5	6
5	英語の映画、ビデオ、ラジオ番組を理解できる	1	2	3	4	5	6
6	英語の音楽の内容を理解できる	1	2	3	4	5	6
7	英語の雑誌、新聞、本を理解できる	1	2	3	4	5	6
8	専門の文献・論文を英語で読むことができる	1	2	3	4	5	6
9	留学で授業に対応できる	1	2	3	4	5	6
10	海外で働ける	1	2	3	4	5	6
III. 自分の状況について答えてください							
1	英語で発表したり、英語を使って活動するのが好き	1	2	3	4	5	6
2	単語学習が好き	1	2	3	4	5	6
3	英文法学習が好き	1	2	3	4	5	6
4	リスニング学習が好き	1	2	3	4	5	6
5	英文を読むのが好き	1	2	3	4	5	6
6	調べたことをまとめるのは得意	1	2	3	4	5	6
7	日本語であれば、発表するのは得意	1	2	3	4	5	6
IV. これまで（過去の授業）の英語学習について答えてください。							
1	英語学習にやりがいを感じる（達成感、成功感を与えてくれる）	1	2	3	4	5	6
2	今までの英語の授業に満足している	1	2	3	4	5	6
3	自分の英語力に満足している	1	2	3	4	5	6
4	意見があるときは、手をあげて発表する	1	2	3	4	5	6
5	教師が質問した時は、自分を指名してほしいと思うことがよくある	1	2	3	4	5	6
6	授業中に疑問があったら、質問する	1	2	3	4	5	6
7	授業で習ったことをよく復習する	1	2	3	4	5	6
8	わからない点が見つかった時は、教師や友人に聞いてはっきりさせる	1	2	3	4	5	6
9	欠席した授業は、必ず内容を確認しておく	1	2	3	4	5	6
10	課題をやるときは、学習した内容を生かすように努力する	1	2	3	4	5	6
11	課題や提出物は、できるだけ満足のいくものにするよう努力する	1	2	3	4	5	6
12	教師が特別な課題を出せば、単位に関係なくとも進んでやる	1	2	3	4	5	6
13	英語ができるクラスメートに近づきたい（から学びたい）と思う	1	2	3	4	5	6
14	英語の授業はあっという間に終わる	1	2	3	4	5	6
15	英語の勉強は特に好きではなく、単位取得のために勉強している	1	2	3	4	5	6
16	難しいとわかったら簡単にあきらめる	1	2	3	4	5	6
17	必要以上のことはしない	1	2	3	4	5	6
18	習ったことを復習するのは、テストや定期試験のときだけである	1	2	3	4	5	6
19	英語の宿題はいい加減にやることが多い	1	2	3	4	5	6
20	英語は暗記科目だと思う	1	2	3	4	5	6

V. 好む授業について答えてください。							
1	本当にやり応えのあるような作業やテキストで英語を勉強する	1	2	3	4	5	6
2	たくさんのアクティビティを活発にやる	1	2	3	4	5	6
3	教師がリードし自分は黙って聞いている	1	2	3	4	5	6
4	テキストに忠実に沿った授業	1	2	3	4	5	6
VI. 好みの学習形態について答えてください。							
1	一人学びが好き	1	2	3	4	5	6
2	グループ学習が好き	1	2	3	4	5	6
VII. 英語に関してあなたの状況・気持について答えてください。							
1	英語を話す人と一緒にいると落ち着いて自信を感じる	1	2	3	4	5	6
2	旅行客に自信を持って英語で方向を教えられる	1	2	3	4	5	6
3	いつも自分より他の学生のほうが英語が上手に話せる、と思う。	1	2	3	4	5	6
4	他の学生が自分の英語を笑うのではないかと心配になる	1	2	3	4	5	6
5	授業中に英語で話すのは恥ずかしい	1	2	3	4	5	6
6	英語で話しかけられると、すぐ混乱して逃げ出したいくなる	1	2	3	4	5	6

クラス () 番号 () 氏名 ()
 ご協力ありがとうございました。

表8 DS ポストアンケート

下の質問に1(絶対そうということはない)～6(常にそうだ)で答えてください。

I. あなたが英語を勉強する目的は何ですか？							
1	海外旅行をしたいから	1	2	3	4	5	6
2	外国人に会って、英語で話したいから	1	2	3	4	5	6
3	外国人と友達になりたいから	1	2	3	4	5	6
4	外国人の友達や知り合いと連絡を取ったり交流を図りたいから	1	2	3	4	5	6
5	海外に住みたいから	1	2	3	4	5	6
6	世界のいろんな文化や人々について知りたいから	1	2	3	4	5	6
7	世界の情勢を知りたいから	1	2	3	4	5	6
8	視野を広げたいから	1	2	3	4	5	6
9	英語は国際共通語だから	1	2	3	4	5	6
10	英検などの資格試験に合格したり TOEIC でいい点数を取るため	1	2	3	4	5	6
11	英語のクラスで良い成績をとるため	1	2	3	4	5	6
12	将来の仕事・研究に必要なだから	1	2	3	4	5	6
13	良い仕事につきたいから	1	2	3	4	5	6
II. どれくらいの英語力をつけたいですか。							
1	旅行するとき最低限のコミュニケーションをはかれる	1	2	3	4	5	6
2	簡単な日常会話ができる	1	2	3	4	5	6
3	英語のスピーチができる	1	2	3	4	5	6
4	英語でディスカッションをしたり、ディベートができる	1	2	3	4	5	6
5	英語の映画、ビデオ、ラジオ番組を理解できる	1	2	3	4	5	6
6	英語の音楽の内容を理解できる	1	2	3	4	5	6
7	英語の雑誌、新聞、本を理解できる	1	2	3	4	5	6
8	専門の文献・論文を英語で読むことができる	1	2	3	4	5	6
9	留学で授業に対応できる	1	2	3	4	5	6
10	海外で働ける	1	2	3	4	5	6
III. 自分の状況について答えてください							
1	英語で発表したり、英語を使って活動するのが好き	1	2	3	4	5	6
2	単語学習が好き	1	2	3	4	5	6
3	英文法学習が好き	1	2	3	4	5	6
4	リスニング学習が好き	1	2	3	4	5	6
5	英文を読むのが好き	1	2	3	4	5	6
6	調べたことをまとめるのは得意	1	2	3	4	5	6
7	日本語であれば、発表するのは得意	1	2	3	4	5	6

IV. 英語Ⅲの英語学習について教えてください。							
1	英語学習にやりがいを感じた（達成感、成功感を与えてくれた）	1	2	3	4	5	6
2	英語Ⅲの授業に満足した	1	2	3	4	5	6
3	英語力が伸びた（3 一少し落ちた・4 一少し伸びた）	1	2	3	4	5	6
4	意見があるときは、手をあげて発表した	1	2	3	4	5	6
5	教師が質問した時は、自分を指名してほしいと思うことがよくあった	1	2	3	4	5	6
6	授業中に疑問があったら、質問した	1	2	3	4	5	6
7	授業で習ったことをよく復習した	1	2	3	4	5	6
8	わからない点が見つかった時は、教師や友人に聞いてはっきりさせた	1	2	3	4	5	6
9	欠席した授業は、必ず内容を確認した	1	2	3	4	5	6
10	課題をやるときは、学習した内容を生かすように努力した	1	2	3	4	5	6
11	課題や提出物は、できるだけ満足のいくものにするよう努力した	1	2	3	4	5	6
12	教師が特別な課題を出せば、単位に関係なくとも進んでやった	1	2	3	4	5	6
13	英語ができるクラスメートに近づきたい（から学びたい）と思った	1	2	3	4	5	6
14	英語の授業はあっという間に終わった	1	2	3	4	5	6
15	英語の勉強は特に好きではなく、単位取得のために勉強した	1	2	3	4	5	6
16	難しいとわかったら簡単にあきらめた	1	2	3	4	5	6
17	習ったことを復習するのは、テストや定期試験のときだけであった	1	2	3	4	5	6
18	英語の宿題はいい加減にやるが多かった	1	2	3	4	5	6
19	この授業で英語は暗記科目だと思った	1	2	3	4	5	6
V. 好む授業について教えてください。							
1	本当にやり応えのあるような作業やテキストで英語を勉強する	1	2	3	4	5	6
2	たくさんさんのアクティビティを活発にやる	1	2	3	4	5	6
3	教師がリードし自分は黙って聞いている	1	2	3	4	5	6
4	テキストに忠実に沿った授業	1	2	3	4	5	6
VI. 好みの学習形態について教えてください。							
1	一人学びが好き	1	2	3	4	5	6
2	グループ学習が好き	1	2	3	4	5	6
VII. 英語に関してあなたの状況・気持について教えてください。							
1	英語を話す人と一緒にいると落ち着いて自信を感じる	1	2	3	4	5	6
2	旅行者に自信を持って英語で方向を教えてあげられる	1	2	3	4	5	6
3	いつも自分より他の学生のほうが英語が上手に話せる、と思う。	1	2	3	4	5	6
4	他の学生が自分の英語を笑うのではないかと心配になる	1	2	3	4	5	6
5	授業中に英語で話すのは恥ずかしい	1	2	3	4	5	6
6	英語で話しかけられると、すぐ混乱して逃げ出したくなる	1	2	3	4	5	6

クラス（ ） 番号（ ） 氏名（ ）
ご協力ありがとうございました。

注

- (1) 医療・福祉英語検定協会教材委員会「英語で福祉を学ぼう」(医療・福祉英語検定協会、2005 年)
 (2) 赤松直子他「保育の英会話」(萌文書林、2002 年)
 (3) プレアンケートとポストアンケートは、2008 年 5 月に、木村みどり氏(東京女子医科大学看護学部准教授)、下村幸成氏(東洋学園大学専任講師)、阿川敏恵氏(恵泉女子大学専任講師)、古山が青山学院大学総合研究所、TF27 研究会で共同製作したものを使用した。
 (4) 使用した会話は表 9 である。

表 9

Indoor playtime 1group	Mari:	Michi, this is Emily, your new friend.
	Michi:	Hi, Emily. Let's play dressup with dolls.
	Emily:	OK, let's. Sounds good.
Lunchtime 2group	Mari:	It's lunchtime. Everyone, wash your hands, please.
	Emily:	We all did.
	Mari:	All right. Let's have lunch, itadakimasu.
	Emily:	Itadakimasu.
	Mari:	Emily, what do you have today?
	Emily:	Onigiri.
	Mari:	Your Japanese is good.
	Emily:	Thank you. This is yummy.
Mari:	Be careful with the miso soup. Don't spill it.	
Helping Emily get ressed 3group	Mari:	Please, put on your clothes.
	Emily:	I'm sleepy.
	Mari:	OK, wake up, please. First, put on your skirt and T-shirt.
	Emily:	Yes, I want to play outside soon.
Outdoor playtime 4group	Takashi:	Emily, let's go outside and play.
	Emily:	What do you want to do?
	Takashi:	I want to play in the pool.
	Emily:	OK. Get a big ball.
	Takashi:	Let's enjoy!

- (4) Kay Teehan, *Digital Storytelling* (Lulu. Com, 2006), pp.69-72。